



先生から防災ゼリーの説明を聞く子どもたち

子どものうちから防災意識を 子どもたちに備蓄用防災ゼリー配布

町では子どもの時から防災意識を持ってもらおうと、株式会社ワンテーブルが製造する町産りんごを使用したゼリー型備蓄食『LIFE STOCK』を小中学校や幼稚園、保育所の子どもたちに配布しました。

この取り組みはテレビ東京「ワールドビジネスサテライト」の防災プロジェクトで放送されました。



いざという時に備えて消防設備を確認

いざという時に備えて 初午行事で春の火災予防

国見町消防団（村上信夫団長）による初午行事が3月14日、町内各地で行われました。

初午行事は、乾燥する日が続く春を前に、火の用心を呼びかけたり、消防水利や新設した消防設備を点検する春の風物詩です。町消防団は火災発生時の備えを確認し、防火の誓いを新たにしました。



卒団生の（左から）野村君、菊地君、内村君

仲間たちとの思い出を胸に新たな一歩 国見ソフトスポ少卒団式

国見ソフトボールスポーツ少年団の卒団式が3月14日、森江野町民センターで行われ、3人の門出を祝いました。

式では、菊地一貴団長が一年間の活動を振り返ってあいさつし、卒団する菊地悠翔君、内村樹琉君、野村鴻志君に卒団証書と手作りのメダルを贈りました。3人は村上忍監督らに色紙を手渡し、感謝の言葉を述べました。



町では県内初導入へ向けて実証実験を行います

鳥獣被害対策の切り札に 野生動物撃退装置「モンスターウルフ」

野生動物撃退装置「モンスターウルフ」の説明会が3月16日、国見町役場で町鳥獣被害対策実施隊などの関係者が出席して行われました。オオカミをかたどった装置はセンサーで野生動物を感知すると、首を振り鳴き声を出したり、目などがLEDで光ります。説明会では、開発した株式会社太田精器（北海道）の太田裕治社長が装置を起動させ、撃退効果などについて説明しました。



木製フォトフレームを受け取る古川さん家族

木のぬくもりを感じて ～国見町ウッドスタート・木育推進事業～

福島県森林環境交付金を活用して、昨年誕生した24名の赤ちゃんに町産の杉で作ったオリジナルの木製フォトフレームを誕生祝い品として贈呈。引地真町長が代表の古川大智君に名前や手形、生年月日などがレーザー彫刻された木製フォトフレームを手渡しました。お母さんの恵利香さんは「木の温もりを感じながら大きく成長してもらいたいです」と話しました。



横山常務からデコポンを受け取る（左から）渡邊さん、関根さん

熊本からデコポンが届きました 子どもたちへ福島県沖地震のお見舞い

福島県沖地震を受け、福島中央青果卸売株式会社（池田進二社長）が2月22日、熊本県果実農業協同組合連合会からお見舞いとして届いた同県産デコポンを町の子どもたちに贈りました。

贈呈式は国見小学校で行われ、同社の横山広一常務より児童代表の渡邊桃花さんと関根里桜さんに手渡されました。いただいたデコポンは小中学校や幼稚園、保育所の給食で提供されました。



引地町長や職員へスタンドの説明をする大沼社長（左）

感染症予防対策に役立てて トヨタ足踏み式消毒スタンドを寄贈

ネットトヨタ福島株式会社（大沼健弘社長）は2月26日、新型コロナウイルス感染症対策に役立ててほしいとトヨタ足踏み式消毒スタンド「しょうどく大使」3台を町へ寄贈しました。

贈呈式では、大沼社長が車いすでも簡単に使用できるなどの特徴を説明しながら引地真町長へ引渡しました。寄贈されたスタンドはワクチン接種会場などで活用する予定です。



かわいいおひなさまが登場♪

おひなさまへ華麗に変身 くにみももたん広場ひな祭り

くにみももたん広場では2月15日から3月2日までの間、季節のイベントとしてひな祭りが行われました。

広場には、桃の節句を楽しんでもらおうと、スタッフが手作りしたおひなさまなりきりセットを設置。訪れた子どもたちが、おひなさまに扮して写真撮影をするなど、ひな祭り気分を満喫している姿が見られました。



軽快なトークを披露する大和田さん

大和田アナがコロナ禍を語る 町文化団体連絡協議会「文化講演会」

国見町文化団体連絡協議会（佐藤清二会長）の文化講演会が2月28日、観月台文化センターで行われました。

フリーアナウンサー（元ラジオ福島アナウンサー）の大和田新さんが『笑う門には福島来たる～コロナなんかには負けないぞ！～』と題して講演。コロナ禍の中での予防法や心掛けなどについてユーモアを交えながら語りました。



まごころ直送便を受け取り笑顔の子どもたち

子どもたちにまごころ直送便 リトルオリーブこども基金

被災地の子どもたちの支援として町を訪れ、クリスマスプレゼントなどを贈るクリスマス訪問活動をしているリトルオリーブこども基金（山岡守代表理事）が、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で訪問できないため、子どもたちへまごころ直送便をプレゼント。新鮮な野菜などの詰め合わせで、子どもクラブ・幼稚園・保育所の子どもたち1世帯に1セットずつ贈られました。